



茨城ワイズメンズクラブ
2022 年度-2023 年度
8 月報 Vo | .168

強調月間テーマ

「評価」

THE Y'S MEN'S CLUB OF
IBARAKI
CHARTERED 2006



国際会長主題 「Into the next 100 years fellowship in pac」
アジア太平洋地域会長主題..... 「Beyond self and be the change」
東日本区理事主題..... 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
関東東部部長方針「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる。すべては、プレミアムな価値と体験を生むために」
茨城クラブ会長主題..... 「なかま・つながる・みどりの」

< 8 月例会プログラム >

と き: 2022 年 8 月 11 日(金)
17:00~20:00(予定)
と ころ: 筑波学園教会教育会館 1F
zoom によるオンライン開催
茨城 YMCA みどりの本館
司 会: 熊谷 光彦
開会挨拶と点鐘: 熊谷 光彦
ワイズソング: (感染対策としてスキップ)
「いざ立て心熱くし」
ワイズ信条: (感染対策としてスキップ)
1、自分を愛するよう
隣人(りんじん)を愛そう
1、青少年のために YMCA に尽くそう
1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとう
1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう
今月の聖句・祈祷: 熊谷 光彦
新年度の主題について: 熊谷 光彦
ハッピーバースデー &
おめでとう結婚記念日:
スマイル:
茨城 YMCA 報告: 和田 賢一
閉会挨拶と点鐘: 熊谷 光彦
懇親会: BBQ

「帰ってきたいと思える居場所」

茨城 YMCA 安塚純香

2022 年 4 月より茨城 YMCA に入職いたしました安塚純香と申します。リーダーネームは「くりす」です。現在、つくばオーリーブ保育園の 1 歳児担任と野外スタッフを担当させていただいています。

私は、栃木県出身で大学生のときには、とちぎ YMCA でリーダーをしていました。そのリーダー時代に、日本 YMCA 大会や北関東の YMCA が集まったプレキャンプなどで、たくさんの方々と交流させていただき、さまざまな経験をさせていただきました。

いつでも私を温かく迎えてくれる YMCA は、いつしか私の「居場所」となりました。後は、YMCA 関係の職場で働きたいと思っていました。スキルアップをしてから YMCA に携わりたいという思いから昨年度まで茨城県内の保育園で働いていました。

今後の私の目標は、私が YMCA を自分の居場所だと感



☆今月の聖句☆

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。ヨハネによる福音書 17 章 21 節

じたように、子どもたちやリーダーたちにも、いつでも帰ってきたいと思える居場所を作っておいてあげられるスタッフになるということです。

【7月例会報告】

7月例会は、8日金曜に zoom を用いてオンラインにて開催いたしました。今回はイベントの準備に加え、新年度のクラブの主題を決めるべく、話し合いがもたれました。



■今期の茨城クラブの主題について

- ・他クラブの前期、今期の主題を参考にしながら、茨城クラブの今後の方向性について話し合った。
- ・茨城クラブの個性として、スローガンを掲げるよりは肩の力を抜いて、まずは現メンバーのつながりを深め、現メンバーのウェルビーイングを高めていくことで自然に仲間を増やしていくことを目指す。
- ・その場として、昨期1年かけて整備を進めてきた、みどりの本館を今期は本格的に活用していく。
- ・上記の理念を盛り込んで「なかま・つながる・みどりの」を今期の主題とした。

■8月リアル例会について:

- ・みどりの本館にて 8/11(木:山の日)17時開始。
- ・本館の整備のお手伝いとして草取り、そのあとに「お疲れ様 BBQ」として実施する計画。
- ・近隣教会の方々も誘い合わせ、久しぶりに新規会員勧誘の場としたい。
- ・7/30(土)に現地ですりハーサル BBQ を行ってみる。
- ・ただし新型コロナ感染状況によっては、計画の変更等柔軟に対応する。

7月例会（リモート開催）出席状況
 会員：5名（稲本、熊谷、宮田、村田、和田）、
 スタッフ：0名、リーダー：0名、ゲスト：0名、
 出席総数：5名、在籍者会員数：7名、会員出席率：71%

（書記 村田）

【イベント報告】

リハーサル BBQ

7月30日(土)、8月のリアル例会後に予定している懇親 BBQ のリハーサルを、みどりの本館の庭で行いました。

午前中に買い出しをして、午後からゆっくり食材や持ち込む道具の準備を開始し、夕方4時半頃



から現地入りして会場準備を行いました。

参加者は熊谷会長とその家族、柳瀬ワイズ、茨城 YMCA からは三好（あっぴー）リーダーが参加しました。



今回のリハーサルの目的は、おもに BBQ 食材の参加人数に対する準備分量の推計と会場のインフラ整備状況の確認でした。

みどりの本館の周辺には商業的な明かりがま



ったくないため、真っ暗になった最後に花火を楽しんで散会となりました。

（会長 熊谷）

【事務報告】

会計報告（7月8日～8月10日）

前月繰越金…………… ￥25,815-
 まつりつくば参加費…………… ￥2,000-
 次月へ繰越…………… ￥23,815-

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納に、ご協力を賜りたく願います。

（会計 柳瀬）

【茨城 YMCA 報告】

7月の報告

- 6/30-3日 YMCA World Mission Conference
竹内職員、佐久間理事参加
- 3-8日 YMCA World Council 2022
竹内職員、佐久間理事参加
- 2日 高学年ディキャンプクラブ「トムソーヤ」
- 3日 チャレンジキッズキャンプ下見&トレーニング
- 4日 早天祈祷会
- 5日 二葉こども園プール指導
- 6日 学童支援員2年未満研修
- 9日 4・5歳児ディキャンプクラブ「わんぱく」
- 11日 主任会
- 12日 職員礼拝・職員会
- 14日 幼保園避難訓練
- 15日 幼保園保育参観・懇談会
- 16日 小学生ディキャンプクラブ「つくわい」
- 17日 夏のオーバーナイトキャンプ下見&トレーニング
- 18日 アドベンチャーキャンプ顔合わせ会
- 21日 サマースクール開始
- 22日 二葉こども園白組キャンプ指導者派遣
- 23-24日 夏のオーバーナイトキャンプ
- 23日 障がい児者自立支援「たんぽぽクラブ」
- 30日 新入園児体験保育

8月の予定

- 6-7日 フットサル合宿 (中止)
- 9-10日 チャレンジキッズキャンプ (中止)
- 10-11日 ひかりの子1泊キャンプ
- 12-16日 茨城 YMCA センター休館日
- 13-14日 ユースキャンプ
- 16-20日 ダイナミックサマーキャンプ
- 24-26日 アドベンチャーキャンプ
- 27日 高学年ディキャンプクラブ「トムソーヤ」
- 27-28日 「まつりつくば」出店
- 29日 パルシステムオンラインレクリエーション指導

(連絡主事 和田)

【編集後記】

「淡々と」という言葉が昔から好きである。英語で言うならば「keep calm and carry on」とでも言うだろうか。周りの環境がどうであろうと、淡々と自分にできることをする、ということに努めてきた。世界がどうなろうと、自分にできることを探して、口よりも先に行動で示すこと、そういうマインドに満ち溢れているのが YMCA とワイズメンズクラブの良いところだと思う。多忙だから、だとか周りの環境のせいにせず、自分のやれることを今期もやっていきたい。



※写真は出張で訪れた奈良公園、猿沢池
(書記 村田)

学生時代に読んだレトリック何とかという本(題名も著者も思い出せない)に「日本人のガバナビリティの高さ」ということが書かれていた。ガバナビリティは「被統治能力」と訳される。私は、日本人は管理されやすい従順な民族だったから一億玉砕などというとんでもない方向に導かれてしまったのかと思った。しかしそれは正しくなくて、ガバナビリティにはもっと積極的・肯定的な意味があり、日本人のガバナビリティの高さはむしろ戦後の復興において力を発揮したとのことだった。

よく考えてみると、たとえばチームスポーツでは、メンバーが「自身の考えで」自己を犠牲にしながら最大限のパフォーマンスを発揮してチームを勝利に導く。たとえば東日本大震災直後、被災者たちは「自分の考えで」秩序を守り他者をいたわり我慢強く冷静な対応を心がけていた。たとえば現在の新型コロナ禍で日本人は「自分の考えで」きちんとマスクをつけ、それは自分のためというより他者を感染から守る意識のほうが高いためとのこと。それらは結果的には自分の利益に戻ってくる。「自分のために」を極限まで突き詰めてゆくと、一見愚かに映るほど自己犠牲的な行為に行きつくのか。

(会長 熊谷)